

目次 (案)

第 1 章 橋梁の計画と設計 1

1. 建築限界（道路構造令）と荷重および橋下空間（河川管理施設等構造令）

1.1 建築限界（道路構造令）

1.2 道路線形（道路構造令）

1.3 荷重（荷重種類と組合せ）

1.4 橋下空間（河川管理施設等構造令）

2. PC 橋の選定

2.1 PC 橋の選定方法

2.2 PC 橋の橋梁形式・分類

2.3 PC 橋の適用支間・桁高

2.4 新構造形式

2.5 構造・工法別の施工費（実績）・工期

2.6 概算数量

3. 各種条件への PC 橋の対応

3.1 道路線形への対応

3.2 塩害対策

4. PC 橋特有の諸検討

4.1 主桁架設時の検討

4.2 拡幅部の設計

5. 更新用 PC 床版の設計

5.1 更新用 PC 床版の適用範囲と適用基準

5.2 更新用 PC 床版の 設計の手順と主な検討項目

5.3 床版の支間

5.4 T 荷重による PC 床版の曲げモーメント

5.5 床版支間と最小床版厚

5.6 プレキャスト床版の配置例

5.7 間詰部

5.8 制限値

5.9 かぶり

5.10 構造細目

5.11 スタッド

5.12 壁高欄

5.13 更新用 PC 床版の留意点

6. 設計上の留意点

6.1 設計照査項目

6.2 設計照査で指摘が多い項目

訂正箇所

目 次

第 1 章 橋梁の計画と設計 1

1. 建築限界（道路構造令）と荷重および橋下空間（河川管理施設等構造令）

1.1 建築限界（道路構造令）

1.2 道路線形（道路構造令）

1.3 荷重（荷重種類と組合せ）

1.4 橋下空間（河川管理施設等構造令）

2. PC 橋の選定

2.1 PC 橋の選定方法

2.2 PC 橋の橋梁形式・分類

2.3 PC 橋の適用支間・桁高

2.4 新構造形式

2.5 構造・工法別の施工費（実績）・工期

2.6 概算数量

3. 各種条件への PC 橋の対応

3.1 道路線形への対応

3.2 塩害対策

4. PC 橋特有の諸検討

4.1 主桁架設時の検討

4.2 拡幅部の設計

5. 更新用 PC 床版の設計

5.1 更新用 PC 床版の適用範囲と適用基準

5.2 更新用 PC 床版の 設計の手順と主な検討項目

5.3 床版の支間

5.4 T 荷重による PC 床版の曲げモーメント

5.5 床版支間と最小床版厚

5.6 プレキャスト床版の配置例

5.7 間詰部

5.8 制限値

5.9 かぶり

5.10 構造細目

5.11 スタッド

5.12 壁高欄

5.13 更新用 PC 床版の留意点

6. 設計上の留意点

6.1 設計照査項目

6.2 設計照査で指摘が多い項目

分類	断面形状	主たる架設方法	標準支間 (m)						実橋最大支間 (m)	けた高支間比の目安	連続桁の最大けた高【使用例】
			10	20	30	40	50	60			
桁橋	スラブ桁橋	架設桁	43.3 向田橋						43.3	1/28～1/32	—
		連続桁	42.4 にぎわいの進歩道橋						42.4	1/28～1/32	130.0 【3号橋】 にぎわいの進歩道橋
		架設桁	54.0 新和久野橋						54.0	1/28～1/32	—
		連続桁	47.5 茂金田1,2号橋						47.5	1/28～1/32	95.5 【2号橋】 茂金田1,2号橋
	スラブ桁橋	架設桁	40.3 高北2号橋						40.3	1/28～1/32	—
		連続桁	42.4 にぎわいの進歩道橋						42.4	1/28～1/32	130.0 【3号橋】 にぎわいの進歩道橋
		架設桁	55.2 里見丸山南橋						55.2	1/28～1/32	—
		連続桁	47.5 茂金田1,2号橋						47.5	1/28～1/32	95.5 【2号橋】 茂金田1,2号橋
	中央床橋	架設桁	37.8 新滝川橋						37.8	1/22	—
		連続桁	40.3 大洲南ラブリ橋						40.3	1/22	725.0 【2号】 大仁高梁2号橋
		移動支保工	40.9 太田下町高梁橋						40.9	1/22	612.0 【20】 東高梁橋
		架設桁	33.7 宮野橋						33.7	1/15～1/17	—
	板桁橋	架設桁	36.5 阿賀野川東高梁橋						36.5	1/15～1/17	851.0 【23】 東高梁橋
		連続桁	38.0 岸ノ上高梁橋						38.0	1/15～1/17	722.7 【24】 中和公高梁橋
		移動支保工	70.7 常盤松橋						70.7	1/17～1/20	—
		架設桁	77.3 大崎1号線						77.3	1/17～1/20	716.0 【11】 入野高梁橋
橋	橋所打ち桁	架設桁	58.0 七色高梁橋						58.0	1/17～1/20	300.0 【5】 七色高梁橋
		連続桁	170.0 平原大橋						170.0	1/15～1/35	1585.0 【10】 元都川橋
		移動支保工	66.0 丸盛高梁橋						66.0	1/15～1/18	833.0 【13】 大平高梁橋
		架設桁	40.0 白沢橋						40.0	1/17～1/20	—
	直形ウェブ橋	架設桁	115.0 千代川橋						115.0	1/17～1/20	1432.0 【22】 宮ヶ島高梁橋
		連続桁	150.0 朝比奈川橋						150.0	1/15～1/35	1805.0 【16】 東高梁橋
		移動支保工	50.0 島崎川橋						50.0	1/15	554.0 【11】 島崎川橋
		架設桁	60.0 山崎橋(鉄道橋)						60.0	1/12～1/18	—
	複合トラス橋	架設桁	279.4 【13】 志津見大橋						279.4	1/12～1/18	—
		連続桁	118.0 巴川橋						118.0	1/10～1/20	825.0 【7】 豊田川橋
		移動支保工	87.5 赤瀬高梁橋						87.5	1/15～1/35	717.0 【14】 山崎1号高梁橋
		架設桁	66.3 水戸川橋						66.3	1/17～1/20	1048.2 【21】 内牧高梁橋

(注) ※ (中間支けた高) ～ (支間中央けた高)

図-2.3.2 プレキャストを用いた橋梁、場所打ち工法による橋梁

訂正箇所

分類	断面形状	主たる架設方法	標準支間 (m)						実橋最大支間 (m)	けた高支間比の目安	連続桁の最大けた高【使用例】
			10	20	30	40	50	60			
桁橋	スラブ桁橋	架設桁	43.3 向田橋						43.3	1/28～1/32	—
		連続桁	42.4 にぎわいの進歩道橋						42.4	1/28～1/32	130.0 【3号橋】 にぎわいの進歩道橋
		架設桁	54.0 新和久野橋						54.0	1/28～1/32	—
		連続桁	47.5 茂金田1,2号橋						47.5	1/28～1/32	95.5 【2号橋】 茂金田1,2号橋
	スラブ桁橋	架設桁	40.3 高北2号橋						40.3	1/28～1/32	—
		連続桁	42.4 にぎわいの進歩道橋						42.4	1/28～1/32	130.0 【3号橋】 にぎわいの進歩道橋
		架設桁	55.2 里見丸山南橋						55.2	1/28～1/32	—
		連続桁	47.5 茂金田1,2号橋						47.5	1/28～1/32	95.5 【2号橋】 茂金田1,2号橋
	中央床橋	架設桁	37.8 新滝川橋						37.8	1/22	—
		連続桁	40.3 大洲南ラブリ橋						40.3	1/22	725.0 【2号】 大仁高梁2号橋
		移動支保工	40.9 太田下町高梁橋						40.9	1/22	612.0 【20】 東高梁橋
		架設桁	33.7 宮野橋						33.7	1/15～1/17	—
橋	板桁橋	架設桁	36.5 阿賀野川東高梁橋						36.5	1/15～1/17	851.0 【23】 東高梁橋
		連続桁	38.0 岸ノ上高梁橋						38.0	1/15～1/17	722.7 【24】 中和公高梁橋
		移動支保工	70.7 常盤松橋						70.7	1/17～1/20	—
		架設桁	77.3 大崎1号線						77.3	1/17～1/20	716.0 【11】 入野高梁橋
	橋所打ち桁	架設桁	58.0 七色高梁橋						58.0	1/17～1/20	300.0 【5】 七色高梁橋
		連続桁	170.0 平原大橋						170.0	1/15～1/35	1585.0 【10】 元都川橋
		移動支保工	66.0 丸盛高梁橋						66.0	1/15～1/18	833.0 【13】 大平高梁橋
		架設桁	40.0 白沢橋						40.0	1/17～1/20	—
	直形ウェブ橋	架設桁	115.0 千代川橋						115.0	1/17～1/20	1432.0 【22】 宮ヶ島高梁橋
		連続桁	150.0 朝比奈川橋						150.0	1/15～1/35	1805.0 【16】 東高梁橋
		移動支保工	50.0 島崎川橋						50.0	1/15	554.0 【11】 島崎川橋
		架設桁	60.0 山崎橋(鉄道橋)						60.0	1/12～1/18	—
	複合トラス橋	架設桁	279.4 【13】 志津見大橋						279.4	1/12～1/18	—
		連続桁	118.0 巴川橋						118.0	1/10～1/20	825.0 【7】 豊田川橋
		移動支保工	87.5 赤瀬高梁橋						87.5	1/15～1/35	717.0 【14】 山崎1号高梁橋
		架設桁	66.3 水戸川橋						66.3	1/17～1/20	1048.2 【21】 内牧高梁橋

(注) ※ (中間支けた高) ～ (支間中央けた高)

図-2.3.2 プレキャストを用いた橋梁、場所打ち工法による橋梁

◆ PC橋の積算フロー ◆

<Ver.15(2019-31年度版対応)>

- 1. PC単純T桁橋(現場製作)
- 2. PC単純T桁橋(セグメント)
- 3. PCコンボ橋
- 4. バイブレ I 桁、中空桁(現場製作)
- 5. バイブレ I 桁、中空桁(セグメント)
- 6. 場所打固定支保工
- 7. 片持架設工法
- 8. 橋梁付属物工

(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会
東京都新宿区津久戸町4番6号(第3都ビル)
〒162 電話番号 03 (3260) 2535
FAX 03 (3260) 2518

*)掲載内容等による御質問は、上記連絡先内本部事務局まで

訂正箇所

◆ PC橋の積算フロー ◆

<Ver.20(2024-令和6年度版対応)>

- 1. PC単純T桁橋(現場製作)
- 2. PC単純T桁橋(セグメント)
- 3. PCコンボ橋
- 4. バイブレ I 桁、中空桁(現場製作)
- 5. バイブレ I 桁、中空桁(セグメント)
- 6. 場所打固定支保工
- 7. 片持架設工法
- 8. 橋梁付属物工

(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会
東京都新宿区津久戸町4番6号(第3都ビル)
〒162 電話番号 03 (3260) 2535
FAX 03 (3260) 2518

*)掲載内容等による御質問は、上記連絡先内本部事務局まで

	$R_A = \frac{Pb^2}{2\ell^3}(3a+2b) = Q_A, \quad R_B = P - R_A = -Q_B$ $M_B = -\frac{Pab(2a+b)}{2\ell^2}, \quad M_C = \frac{Pab^2}{2\ell^3}(3a+2b)$ $\theta_A = \frac{Pab^2}{4EI\ell}$ $\delta_C = \frac{Pab^2(4a+3b)}{12EI\ell^3}$ $\delta_x = \frac{Pb^2}{12EI\ell^3}\{3a\ell^2 - (2\ell+a)x^2\} \quad (x < a \text{ の場合})$ $\delta_x = \frac{Pa}{12EI\ell^3}\{(3\ell^2 - a^2)x - 2a^2\ell\}(\ell-x)^2 \quad (x > a \text{ の場合})$
	$R_A = \frac{3}{8}w\ell = Q_A, \quad R_B = \frac{2}{5}w\ell = -Q_B$ $Q_C = \frac{w}{8}(3\ell - 8x), \quad M_C = \frac{wx}{8}\left(3 - \frac{4x}{\ell}\right)$ $M_B = -\frac{w\ell^2}{8}$ $M_C = \frac{9}{128}w\ell^2 \quad \left(x_0 = \frac{3}{8}\ell \text{ の場合}\right)$ $\theta_A = \frac{w\ell^3}{48EI}$ $\theta_x = \frac{2P\ell}{18EI}$ $\delta_C = \frac{7P\ell^3}{486EI}$ $\delta_{max} = \frac{w\ell^4}{185EI} \quad (x = 0.422\ell \text{ の場合})$
	$R_A = P\left\{1 - \frac{3a(a+b)}{2\ell^2}\right\} = Q_A, \quad R_B = P\left\{1 + \frac{3a(a+b)}{2\ell^2}\right\}$ $M_B = -\frac{3Pa(a+b)}{2\ell}, \quad M_C = R_A a$ $M_D = M_B + R_B a$ $\theta_A = \frac{Pa(a+b)}{4EI}$ $\delta_C = \frac{Pa^2}{6EI}(3\ell - 4a) - \frac{Pa^2}{4EI\ell^2}(\ell^2 - a^2)(\ell - a)$
	$R_A = \frac{33}{32}P - Q_A, \quad R_B = \frac{63}{32}P - Q_B$ $M_B = -\frac{15}{32}P\ell$ $M_C = \frac{17}{64}P\ell$ $\theta_A = \frac{P\ell^2}{64EI}$ $\delta_C = \frac{31P\ell^3}{1536EI}$
	$R_A = \frac{w\ell}{10} = Q_A, \quad R_B = \frac{2}{5}w\ell = -Q_B$ $M_B = -\frac{w\ell^2}{15}$ $M_C = \frac{w\ell^2}{15\sqrt{3}} \quad \left(x_0 = \frac{\ell}{\sqrt{3}} \text{ の場合}\right)$ $M_x = w\ell^2\left\{\frac{x}{10\ell} - \frac{x^3}{6\ell^3}\right\}$ $\theta_A = \frac{w\ell^3}{120EI}$ $\delta_{max} = \frac{2w\ell^4}{375\sqrt{3}EI} \quad \left(x = \frac{\ell}{\sqrt{3}} \text{ の場合}\right)$ $\delta_x = \frac{w\ell^2 x}{120EI}\left(1 - \frac{2x^2}{\ell^2} + \frac{x^4}{\ell^4}\right)$

	$R_A = \frac{Pb^2}{2\ell^3}(3a+2b) = Q_A, \quad R_B = P - R_A = -Q_B$ $M_B = -\frac{Pab(2a+b)}{2\ell^2}, \quad M_C = \frac{Pab^2}{2\ell^3}(3a+2b)$ $\theta_A = \frac{Pab^2}{4EI\ell}$ $\delta_C = \frac{Pab^2(4a+3b)}{12EI\ell^3}$ $\delta_x = \frac{Pb^2}{12EI\ell^3}\{3a\ell^2 - (2\ell+a)x^2\} \quad (x < a \text{ の場合})$ $\delta_x = \frac{Pa}{12EI\ell^3}\{(3\ell^2 - a^2)x - 2a^2\ell\}(\ell-x)^2 \quad (x > a \text{ の場合})$
	$R_A = \frac{2}{3}P = Q_A$ $R_B = \frac{4}{3}P = -Q_B$ $M_B = -\frac{P\ell}{3}$ $M_C = \frac{2P\ell}{9}$ $M_D = \frac{P\ell}{9}$ $\theta_A = \frac{P\ell^2}{18EI}$ $\delta_C = \frac{7P\ell^3}{486EI}$
	$R_A = P\left\{1 - \frac{3a(a+b)}{2\ell^2}\right\} = Q_A, \quad R_B = P\left\{1 + \frac{3a(a+b)}{2\ell^2}\right\}$ $M_B = -\frac{3Pa(a+b)}{2\ell}, \quad M_C = R_A a$ $M_D = M_B + R_B a$ $\theta_A = \frac{Pa(a+b)}{4EI}$ $\delta_C = \frac{Pa^2}{6EI}(3\ell - 4a) - \frac{Pa^2}{4EI\ell^2}(\ell^2 - a^2)(\ell - a)$
	$R_A = \frac{33}{32}P = Q_A, \quad R_B = \frac{63}{32}P = -Q_B$ $M_B = -\frac{15}{32}P\ell$ $M_C = \frac{17}{64}P\ell$ $\theta_A = \frac{P\ell^2}{64EI}$ $\delta_C = \frac{31P\ell^3}{1536EI}$
	$R_A = \frac{w\ell}{10} = Q_A, \quad R_B = \frac{2}{5}w\ell = -Q_B$ $M_B = -\frac{w\ell^2}{15}$ $M_C = \frac{w\ell^2}{15\sqrt{3}} \quad \left(x_0 = \frac{\ell}{\sqrt{3}} \text{ の場合}\right)$ $M_x = w\ell^2\left\{\frac{x}{10\ell} - \frac{x^3}{6\ell^3}\right\}$ $\theta_A = \frac{w\ell^3}{120EI}$ $\delta_{max} = \frac{2w\ell^4}{375\sqrt{3}EI} \quad \left(x = \frac{\ell}{\sqrt{3}} \text{ の場合}\right)$ $\delta_x = \frac{w\ell^2 x}{120EI}\left(1 - \frac{2x^2}{\ell^2} + \frac{x^4}{\ell^4}\right)$

発刊年月を修正

書籍を追加

【参考図書】計画・設計で使用頻度の高い参考図書一覧

1. 関連示方書、指針、便覧、基準など

PC 道路橋に関連する資料を一覧に記載する。これらの諸規定は、改定されることがあるので、常に最新のものを参照するように心がけねばならない。また、これらの諸基準のうち使用頻度の高いものは、備考欄の [] で示すような略称で呼ばれることが多い。なお、毎年発行される図書は、発行年月日を省略している。

日本道路協会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
道路構造令の解説と運用	令和 3 年 3 月	[構造令]
道路橋示方書・同解説Ⅰ 共通編	平成 29 年 11 月	[道示Ⅰ]
道路橋示方書・同解説Ⅱ 鋼橋・鋼部材編	平成 29 年 11 月	[道示Ⅱ]
道路橋示方書・同解説Ⅲ コンクリート橋・コンクリート部材編	平成 29 年 11 月	[道示Ⅲ]
道路橋示方書・同解説Ⅳ 下部構造編	平成 29 年 11 月	[道示Ⅳ]
道路橋示方書・同解説Ⅴ 耐震設計編	平成 29 年 11 月	[道示Ⅴ]
コンクリート道路橋設計便覧	令和 2 年 9 月	[設計便覧]
コンクリート道路橋施工便覧	令和 2 年 9 月	[施工便覧]
道路橋支承便覧	平成 30 年 12 月	[支承便覧]
道路橋の耐震設計に関する資料 (PC ラーメン橋・RC アーチ橋・PC 斜張橋等の耐震設計計算例)	平成 10 年 1 月	
防護柵の設置基準・同解説、ガードの設置便覧	令和 3 年 3 月	
車両防護柵標準仕様・同解説	平成 16 年 3 月	
道路橋床版防水便覧	平成 19 年 3 月	
道路橋の塩害対策指針 (案)・同解説	昭和 59 年 2 月	

日本河川協会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
改訂解説 河川管理施設等構造令	平成 20 年 7 月	[河川令]

土木学会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
2023 年制定 コンクリート標準示方書〔基本原則編〕	令和 5 年 3 月	
2023 年制定 コンクリート標準示方書〔設計編〕	令和 5 年 3 月	
2023 年制定 コンクリート標準示方書〔施工編〕	令和 5 年 9 月	
2023 年制定 コンクリート標準示方書〔維持管理編〕	令和 5 年 3 月	
2023 年制定 コンクリート標準示方書〔規準編〕	令和 5 年 9 月	
複合構造物の性能照査例	平成 17 年 11 月	
コンクリート長大アーチ橋の設計・施工技術の現状と将来	平成 12 年 9 月	
プレストレストコンクリート工法設計施工指針 コンクリートライブラリー 66 号	平成 3 年 3 月	
コンクリート構造物の維持・管理指針 (案) コンクリートライブラリー 81 号	平成 7 年 10 月	
コンクリート構造物の耐久性設計指針 (案) コンクリートライブラリー 82 号	平成 7 年 11 月	
連続繊維補強材を用いたコンクリート構造物の設計・施工指針 (案) コンクリートライブラリー 88 号	平成 8 年 9 月	
フライアッシュを用いたコンクリートの施工指針 (案) コンクリートライブラリー 94 号	平成 11 年 4 月	
コンクリート構造物の補強指針 (案) コンクリートライブラリー 95 号	平成 11 年 9 月	
連続繊維シートを用いたコンクリート構造物の補修補強指針 コンクリートライブラリー 101 号	平成 12 年 7 月	
電気化学的防食工法 設計施工指針 (案) コンクリートライブラリー 107 号	平成 13 年 11 月	
エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針[改訂版] コンクリートライブラリー 112 号	平成 15 年 11 月	
超高強度繊維補強コンクリートの設計・施工指針 (案) コンクリートライブラリー 113 号	平成 16 年 9 月	
表面保護工法 設計施工指針 (案) コンクリートライブラリー 119 号	平成 17 年 4 月	
吹付けコンクリート指針 (案) 補修・補強編 コンクリートライブラリー 123 号	平成 17 年 7 月	
施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針 (案) コンクリートライブラリー 126 号	平成 19 年 3 月	

土木学会 発刊		
書籍名	書籍名	書籍名
ステンレス鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針（案） コンクリートライブラリー 130号	平成20年9月	
エポキシ樹脂を用いた高性能 PC 鋼材を使用するプレストレストコンクリート設計施工指針（案）コンクリートライブラリー 133号	平成22年8月	
高流動コンクリートの配合設計・施工指針 コンクリートライブラリー 136号	平成24年6月	
高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの設計・施工指針 コンクリートライブラリー 151号	平成30年9月	
鉄筋定着・継手指針 2020年版 コンクリートライブラリー 156号	令和2年3月	

国土交通省 関連		
書籍名	発刊年月	備考
建設省制定 土木構造物標準設計第13～16巻	平成6年3月	
建設省制定 土木構造物標準設計第18～20巻	平成8年3月	
国土交通省土木工事積算基準		
橋梁架設工事の積算 (社)日本建設機械化協会		
建設機械等損料算定表 (社)日本建設機械化協会		
建設事業への新素材・新材料利用技術の開発 報告書	平成16年2月	
橋梁定期点検要領（案）	平成16年3月	
国有港湾施設の点検診断に係る実施要領（暫定版）	平成16年12月	
港湾の施設の点検診断ガイドライン【第1部 総論】	令和3年3月	
港湾の施設の点検診断ガイドライン【第2部 実施要領】	令和3年3月	
道路工事保安施設設置基準（案）	令和6年2月	
東北地方整備局：設計施工マニュアル〔橋梁編〕		
北陸地方整備局：設計要領〔道路橋〕		

PC工学会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
PC橋脚の耐震設計ガイドライン	平成11年11月	
PC斜張橋・エクストラードズ橋設計施工規準（案）	平成12年11月	
PC吊床版橋設計施工規準（案）	平成12年11月	
PC橋の耐久性向上マニュアル	平成12年11月	
PC橋架設工法（2002年度版）	平成14年8月	
プレテンションウェブ橋設計施工ガイドライン（案）	平成15年11月	
高強度鉄筋 PPC 構造設計指針	平成15年11月	
外ケーブル構造・プレキャストセグメント工法設計施工規準	平成17年6月	
複合橋設計施工規準	平成17年6月	
PCグラウトの設計施工指針	平成17年12月	
高強度 PC 鋼材を用いた PC 構造物の設計施工指針	平成23年6月	
PC定着工法（2010年版）	平成22年12月	
フレッシュマンのための PC 講座・増補改訂版	平成28年1月	
更新用プレキャスト PC 床版技術指針	平成28年3月	
プレキャスト PC 床版による道路橋更新設計施工要領	平成30年3月	
既設ポストテンション橋の PC 鋼材調査および補修・補強指針	平成28年3月	
既設 PC ポストテンション橋保全技術指針	令和4年1月	
高強度鉄筋緊張 PRC 構造設計指針（案）・同解説	平成31年2月	
繊維強化ポリマー(FRP)のコンクリート構造物への適用に関する設計・施工指針	令和2年9月	
PC連続Uコン橋の継目部に関する設計指針	令和4年6月	

高速道路会社 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
設計要領 第二集 橋梁建設編	平成 28 年 8 月	
設計要領 第二集 保全編	令和 6 年 7 月	

日本コンクリート工学会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針 2022	令和 4 年	
マスコンクリートのひび割れ制御指針 2016	平成 28 年	
コンクリート診断技術 24	令和 6 年	

カンチレバー技術研究会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
カンチレバー工法技術資料	平成 25 年 6 月	
カンチレバー工法 Q&A	平成 27 年 4 月	
プレストレスト・コンクリート橋カンチレバー工法実績集	平成 29 年 7 月	
作品集カンチレバー工法 100 選		

波形鋼板ウェブ合成構造研究会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
波形鋼板ウェブ PC 橋 計画マニュアル (案)		
波形鋼板ウェブ橋に関する Q & A	平成 14 年 6 月	
波形鋼板ウェブ PC 橋 設計実例集 2006	平成 18 年	

PC 押出し工法協会 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
PC 押出し工法	平成 20 年 7 月	
PC 押出し工法 Q&A 集	平成 26 年 10 月	

PC 建協 発刊		
書籍名	発刊年月	備考
やさしい PC 橋の設計[H29 道路橋示方書対応]	平成 31 年 3 月	
道路橋用プレストレストコンクリート橋桁 設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰¹⁶)プレキャストコンクリート製品 附属書 2(規定) 橋梁類 推奨仕様 B-1 道路橋用橋げた	令和 2 年 3 月	
道路橋用橋桁設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰⁰⁴)推奨仕様 2-1 道路橋用橋桁 (通常橋桁)	平成 16 年 6 月	
道路橋橋桁用セグメント設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰¹⁶)推奨仕様 2-2 道路橋橋桁用セグメント	令和 4 年 7 月	
道路橋橋桁用セグメント設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰⁰⁴)推奨仕様 2-2 道路橋橋桁用セグメント	平成 16 年 9 月	
合成床版用プレキャスト板設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰¹⁶)推奨仕様 2-3 合成床版用プレキャスト板	令和 4 年 7 月	
合成床版用プレキャスト板設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰⁰⁴)推奨仕様 2-3 合成床版用プレキャスト板	平成 16 年 9 月	
道路橋用プレキャスト床版設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰⁰⁴)推奨仕様 2-4 道路橋用プレキャスト床版	平成 16 年 9 月	
道路橋用橋桁設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰¹⁶)推奨仕様 2-1 道路橋用橋桁 (軽荷重スラブ橋桁)	令和 4 年 3 月	
道路橋用橋桁設計・製造便覧(JIS A 5373 ²⁰⁰⁴)推奨仕様 2-1 道路橋用橋桁 (軽荷重スラブ橋桁)	平成 16 年 9 月	
プレストレストコンクリート施工管理基準(案)	平成 11 年 4 月	
PC 工事安全管理指針(改訂版)	令和 4 年 2 月	
PC 構造物図集 第 1 編 (橋梁実例集)	昭和 63 年 3 月	
PC 構造物図集 第 2 編 (橋梁実例集)	平成 元年 5 月	
PC 構造物図集 第 3 編 (特殊構造物実例集)	平成 3 年 5 月	
PC 斜張橋資料	平成 7 年 3 月	
中空床版橋設計図集(ポストテンション方式プレキャストブロック工法)	平成 7 年 3 月	
PC 橋の支保および落橋防止システムに関する設計資料(案)(改訂 3 版)	平成 17 年 7 月	
ポリエチレン製シース実用化試験報告書 (付属資料) ポリエチレン製シースの品質,設計・施工マニュアル (案)	平成 7 年 9 月	
PC 橋の修景(資料集)	平成 10 年 10 月	
柱頭部マスコンクリート検討委員会報告	平成 13 年 3 年	

PC 建協 発刊		
塩害に対するプレキャストと PC 桁の設計 ・施工資料	平成 17 年 3 年	
PC グラウト& プレングラウト鋼材施工マニュアル2024改訂版	令和 6 年 3 月	
PC 床版設計・施工マニュアル(案)	平成 11 年 5 月	
施工計画書作成の手引き(T 桁橋・セグメント T 桁橋編)	平成 28 年 9 月	
施工計画書作成の手引き(場所打桁)	平成 29 年 7 月	
施工計画書作成の手引き 増補版	平成 31 年 3 月	
PC コンボ橋 設計施工の手引き[改訂版]	平成 19 年 5 月	
プレキャスト T 桁の転倒防止対策事例[改訂版]	令和 2 年 4 月	
PC 定着具および接続具の受入検査の手引き	平成 6 年 6 月	
PC 連結桁橋設計の手引き(案)	平成 10 年 6 年	
PC 橋コンクリート橋施工管理の手引き(案)	令和 4 年 7 月	
外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強マニュアル (案) [改訂版]	平成 19 年 4 月	
外ケーブル方式によるコンクリート橋の補強実例図集	平成 19 年 4 月	
インサートの設計・施工マニュアル (案)	平成 17 年 4 月	
斜橋設計の手引き	平成 2 年 4 月	
プレキャスト地覆	平成 6 年 10 月	
PC 道路橋工事費実績	令和6年版	
PC 技術の変遷	平成 15 年	
プレキャスト PC 床版	平成 12 年	
機能分離型支承	平成 12 年	
PC で挑む立体交差急速施工システム	平成 15 年	
PC 橋のライフサイクルコストと耐久性向上技術	平成 17 年 5 月	
プレストレストコンクリート構造物の補修の手引き〔外ケー ブル工法・外ケーブル補強工法〕	令和 5 年 2 月	
プレストレストコンクリート構造物の補修の手引き「PC グラウ ト再注工法」	令和 2 年 4 月	